

★ 小学6年生のみなさんにおすすめの本 ★



よんでみて!

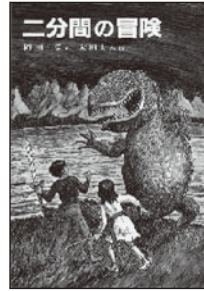


習志野市立図書館

『二分間の冒険』

岡田 淳／作 偕成社 913才

ダレカと名のる黒ネコによって異世界へと飛ばされた6年生の悟。元の世界に帰るには「見知らぬ世界で一番確かなものは何か。それを見つけて捕えてみよ」というダレカの問いに答えなければいけません。さあ、『二分間の冒険』が始まります。



『魔女の宅急便』

角野 栄子／作 福音館書店 913力

魔女の血をひくキキは13才の女の子。13才は魔女にとって大切な年ごろです。なぜなら、魔女として家をはなれ、たった一人で暮らし始めなければならない年だからです。キキにもとうとうその日がやってきました。

※「魔女の宅急便」は全6巻です。



『わらしべ長者』

木下 順二／作 岩波書店 913キ

「かにおかし」「こぶとり」「ききみみずきん」など古くから日本各地に伝わる22の話をあつめた本です。みなさんが今話している言葉と言い方やリズムが違います。声に出してみるとおもしろいですよ。



『だれも知らない小さな国』

佐藤 さとる／作 講談社 913サ

ぼくが小学3年生のとき、おばあさんから聞いた、不思議な「こぼしさま」が住むという小山へ遊びに行きました。そこが好きになり、たびたび行くうちに小指ほどしかないコロボックルー小さな人—と出会います。

※「コロボックル物語」シリーズは全5巻、別巻1巻です。



ぼうけんしゃ
『冒険者たち -ガンバと15ひきの仲間-』

斎藤 惇夫／作 岩波書店 [913サ]

ドブネズミのガンバと仲間たちは、イタチと戦う島の
ネズミ忠太に頼まれ、夢見が島へ渡ります。そこで待
っていたのは怖ろしい白イタチ、ノロイー族でした。勝ち
目のない戦いに、知恵と勇気をふりしぼって仲間たちと
立ち向かうガンバと仲間たちの物語です。

※続きに『グリックの冒険』『ガンバとカワウソの冒険』があります。



『夏の庭 -The Friends-』

湯本 香樹実／作 徳間書店 [913ユ]

ひとが死ぬってどういうことなんだろう。6年生の3
人は、好奇心からすぐに死にそうなおじいさんを見張り
ます。けれども、おじいさんに見つかってしまい…。3
人とひとりの、かけがえのない夏のお話です。



『アラビアン・ナイト 上・下』

ディクソン／編 岩波書店 [92ア1・2]

船のりシンドバッドの冒険、アラジンと魔法のランプ
など、空想や魔法の話をつめたもので、これほど面白
い本はないと言われてしています。死刑を宣告されたか
しこい王妃がおもしろい話を千一夜かけて語ってゆるされた
という、そのお話を十分に楽しんでください。



『ふしぎの国のアリス』

ルイス・キャロル／作 福音館書店 [93キ]

チョッキを着て時計を持った白いウサギを追いかけて
いたアリスは、ウサギ穴に落ちてしまいます。次々に登
場するきみょうな動物たち、そしていろいろなゲーム。
アリスと不思議な世界を体験してみましょう。



※ □の中の記号は、背表紙についているラベル(請求記号)です。

『ホビットの冒険』

J. R. R. トールキン／作 岩波書店 93ト

ホビット小人のビルボはある日、思いがけないことから、魔法使いやドワーフ小人たちとともに、竜にうばわれた宝を取り返す旅に出ることになってしまいます。行く手に待ちうける恐ろしいトロールやゴブリン小人たちを相手に、ビルボは無事宝を取り返すことができるでしょうか。



『床下の小人たち』

メアリー・ノートン／作 岩波書店 93ノ

あったはずのものが見当たらない…。ときどきそんなことはありませんか。それはもしかしたら小人の仕業かもしれません。古い家の床下に住む小人の一家は、人間から何もかも借りて暮らしていました。

※続きに「野に出た小人たち」「川をくだる小人たち」「空をとぶ小人たち」「小人たちの新しい家」があります。



『ツバメ号とアマゾン号 上・下 ランサム・サーガ 1』

アーサー・ランサム／作 岩波書店 93ラ1・2

ウォーカー一家の4人の兄弟は帆船「ツバメ号」で湖に浮かぶ無人島に行き、子どもたちだけでキャンプをすることにしました。船長はジョン、航海士にスーザン、エイブル（熟練）船員にティティ、ボーイはロジャです。出航の時間が冒険の始まりです。

※「ランサム・サーガ」シリーズは12巻まであります。



『オタバリの少年探偵たち』

セシル・テイ=ルイス／作 岩波書店 93ル

教室の窓を割ってしまい、弁償することになった仲間のために、みんなでかせいだお金が消えてしまいました！ うばわれたお金を取り戻すため少年たちは探偵となって犯人探しを始めます。あやしいのは、お金を入れる木の箱をくれた2人組。



『カイウスはばかだ』

ヘンリー・ウィンターフェルト／作 岩波書店 **94ウ**

授業中、書字板に「カイウスはばかだ」と落書したルーフスは、退学を言いわたされてしまいました。ところが翌朝、今度は神殿の壁に「カイウスはばかだ」と書かれる事件が起きました。これもルーフスの仕業なのでしょう。生徒たちは真相をあきらかにするため動き出します。



『アーベルチェの冒険』

アーニー・M. G. シュミット／作 岩波書店 **94シ**

アーベルチェは新しくできたデパートのエレベーターボーイになりました。デパートが開店した日、アーベルチェがエレベーターの緑のボタンを押すと、3人のお客とアーベルチェを乗せたまま、エレベーターが天井を突き破って空へ飛び出してしまいました。アーベルチェたちは無事に町へ戻る事ができるでしょうか。



『たのしいムーミン一家』

ムーミン童話全集 2』

トーベ・ヤンソン／作 講談社 **94ヤ2**

冬眠から目覚めたムーミントロールたちは、山で不思議な帽子をひろいました。その帽子は、中に入ったものをおかしなものに変えてしまうのです。それからというもの、ムーミン谷では次々と事件が起こり始めます。

※「ムーミン童話全集」は全8巻、別巻1巻です。



『ニルスのふしぎな旅 上・下』

セルマ・ラーゲルレーヴ／作 福音館書店 **94ラ1・2**

乱暴者の少年ニルスは、小人の妖精トムテにいたずらをしたために、魔法で体を小さくされてしまいます。でも、動物の言葉がわかるようになり、ガチョウのモルテンの背に乗って、ガンの群れと一緒に国中を旅します。



※ の中の記号は、背表紙についているラベル(請求記号)です。

ひょうはく
『漂泊の王の伝説』

ラウラ・ガジェゴ・ガルシア／作 偕成社 96カ

砂漠にあるキングダ王国の王子ワリードは、偉大な詩人になるのが夢でした。しかしその夢は貧しい絨毯織りのすぐれた詩によって断たれてしまいました。嫉妬にかられたワリードは、絨毯織りに『人類の歴史をすべて織りこんだ絨毯』を織れという難題を出します。



ぼうけん
『チポリーノの冒険』

ジャンニ・ロダーリ／作 岩波書店 97口

玉ねぎ一家のお父さんは、国をおさめている横暴なレモン大公の足を過って踏んでしまい、終身刑にされてしまいました。旅に出た玉ねぎ坊やのチポリーノはお父さんを助けるため、カブ子ちゃんたち仲間と協力して大活躍します。



『みんなやわらかい』

谷川 俊太郎／詩 大日本図書 911夕

「ぼくたちの生活には詩があふれている。」生活の中の身近なものをテーマにして生み出された、やさしい詩の数々が収められています。読みやすく、やさしい言葉でつづられた詩集です。



『ガラガラヘビの味』

アーサー・ビナード、木坂 涼／編訳
岩波書店 93カ

ちょっとびっくりするタイトルのこの本には、18世紀から現代までのアメリカの詩62篇が収められています。「詩って難しい」なんて思わずに、まずは読んでみてください。いろいろな味わいの詩に出会えますよ。



『さよならエルマおばあさん』

大塚 敦子／写真・文 小学館 **49才**

「わたしの命はあと1年くらいだろうからいろいろと準備をはじめないとね…」エルマおばあさんが亡くなるまで、家族と過ごした最後の1年間のお話です。



『もしも原子がみえたなら』

板倉 聖宣／作 仮説社 **43イ**

みなさんは原子を見たことがありますか。じつは原子はどんなにくわしく見える顕微鏡けんびきょうでも見えない小さなつぶです。空気も水もわたしたちのからだも、あらゆるものは原子がたくさん集まってできているのです。



『しめかざり』

森 須磨子／文 福音館書店 **38モ**

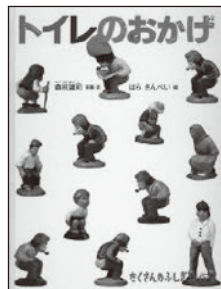
お正月に家の門や玄関にかざる「しめかざり」。お正月の神様「年神様」を迎えるためにかざられます。かざる場所や地域によっていろんな形がある「しめかざり」は一体、どのように作られているのでしょうか。



『トイレのおかげ』

森枝 雄司／写真・文 福音館書店 **38モ**

トイレは毎日使うところですが、私たちはトイレのことをどれくらい知っているのでしょうか。例えば、昔のヨーロッパの多くの都市では、窓からオシッコやウンチをすてていました。江戸の町では畑の肥料として買いとってもらえました。世界には様々なトイレがあり、時代とともに変化してきました。



※ の中の記号は、せびょうし背表紙についているラベル(請求記号)です。

よろこそ図書館へ!

初めて本を借りるとき

住所の書いてあるもの(名札、自分のところに来た手紙など)を持ってカウンターに来て下さい。「図書館カード」を作ります。

借りるとき

借りたい本と、図書館カードをカウンターに持って来て下さい。

1人**10冊**まで**2週間**借りられます。

CD・DVDは**2点**まで**2週間**借りられます。

返すとき

市内のどの図書館でも資料を返すことができます。

(図書館カードは必要ありません)

カウンターに本を持って来て下さい。

図書館がお休みの時は、ブックポストに返すこともできます。

本が見つからないとき

図書館の人に聞いて下さい。

貸出中の本は、予約することもできます。

1人が予約できるのは、本が10冊、CD・DVDは2点までです。

「予約・リクエストカード」を書いてカウンターに出して下さい。

※**図書館は本をさがすお手伝いもしますので、
カウンターの職員に気軽に声をかけてください。**

